

2022年度 OHANA 事業計画書

一般社団法人 OHANA

長引くコロナ禍により、国民全体が経済的、精神的に余裕のない生活を余儀なくされている。報道によれば、国や各自治体は一般人だけでなく、中小企業経営継続のための政策を打ち出してはいるものの、その恩恵にあずかれたのはほんの一部の国民に過ぎない。

非対面やテレワーク導入により、社会は分断され、社会的弱者は就労すらままならず、本当に苦しい生活を強いられている。こうした誰もが苦しい社会の中で、性暴力被害に遭ってしまったにも関わらず、どこかに、また誰かに相談することすら迷ってしまう人が非常に多く見受けられる。しかしながら、このような苦しい状況下であって、私達が住む地域の方や、配送業者等、一般の人からの多大なる協力のおかげで、当団体を利用する当事者達の安全と健康を微々たるものではあるが守る事ができた。また、相談業務外でも、地域の他団体や個人の方から無料で食材や生活用品のご寄付を頂き、経済的の困窮している当事者に無料配布をする事もでき、ものつくりの作業スペースを少しではあるが拡充する事ができた。こうした心優しい地域の団体や個人に支えられ、拡充したスペースを「ものつくり」をツールとして、一般の人へも開き、あらゆる性被害の潜在化防止と防犯、孤立防止に努めていく。また、感染症対策を徹底しつつ、地域イベント等にも積極的に参加し、社会との繋がり場のきっかけ作りにも努めていく。更に、一般に作業場を開放していく事で、当団体が事務局を置く平塚市や神奈川県内にいる優しい人々を多く見出し、誰も取り残されることがない優しい地域を広げる活動を進めていく。

1 ものつくりをツールとした居場所つくり事業

- ・ものつくりを通して、自分自身の気持ちを「形」として表現していく場つくり。
- ・自分の作った作品を通して、トラウマと向き合う場つくり。
- ・完成した作品を地域イベント、地域コミュニティカフェに出店する事で地域社会との繋がりと、地域社会に出るきっかけの場。
- ・専門の支援員が在中する「ものつくりの場（アトリエ）」を提供することで、安心して滞在できる「居場所」の確保。
- ・二次被害を回避できる在宅ワークでの就労支援事業
- ・販売できるハンドメイド小物雑貨、アクセサリーのスキル習得支援。
- ・地域で開催されるイベントへの出店参加による接客などの就労体験。
- ・自分の作品を販売するためのネットショップ構築の為のスキル習得。
- ・パソコンの基本操作（ワード、エクセル、パワポ）のスキル習得支援。
- ・動画作成、動画編集の技術習得支援。

2 ソーシャルワーク研究会の開催。(二か月に一回)

- ・誰も取り残されないソーシャルワーク構築の為の基盤作り（横の繋がりの強化）と人権啓発。
- ・支援者の為の息抜き、情報交換の場作り。
- ・様々な当事者グループ、または当事者に参加して頂き、「当事者の持つ力」の意味を考える学びの場の提供。
- ・イベントや勉強会の企画と運営
- ・支援員のスキルアップ、及び人材育成の為の事業

3 週末緊急宿泊シェルター事業

- ・行政などの公的窓口が休日となる土日、祝日でも宿泊することができる場所の確保。
- ・各種相談機関への同行支援。
- ・関係機関との連携と情報提供。